

＜会 議 録＞

会議名	第1回高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
開催日時	令和7年10月20日（月）13時30分～15時03分
開催場所	笠間市役所 教育棟2階 2-1・2-2
出席者氏名 （敬称略）	大藏委員長、石本副委員長、吉見委員、石川委員、室井委員、中嶋委員 田所委員、吉田委員、堀内委員、湊委員、川崎委員、鷹松委員、塩田委員 安達委員、岡野委員、富田委員
事務局職員	高齢福祉課 鈴木課長、石川補佐、安齋主査、塩田係長、 上野係長、前野主査、小室係長、 地域包括支援センター 久保田センター長、増淵補佐、浅川主査、 米川係長、藤村主幹 笠間支所保険福祉課 伊藤課長、 （株）ぎょうせい
会議次第	1. 開会 2. 委員長・副委員長選任 3. 委員長あいさつ 4. 報告事項 （1）第9期計画の進捗状況について （2）計画の方向性について （3）計画策定のための諸調査について （4）計画策定のスケジュールについて 5. その他 次回日程について 6. 閉会
配付資料	資料1 第9期計画の進捗状況について 資料1-①サービス見込量の進捗 資料2 計画の方向性について 資料3 計画策定のための諸調査について 資料4 第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画・成年後見制度利用促進基本計画・認知症施策推進計画 策定スケジュール
その他	傍聴者なし
協議内容(要旨)	
委員長 吉見委員	1. 開会 2. 委員長・副委員長選任 大藏委員長・石本副委員長を選任 3. 委員長あいさつ 4. 報告事項 (1) 第9期計画の進捗状況について 事務局より「資料1 第9期計画の進捗状況について」（1～7ページ）説明 ご意見はあるか。 4ページ、1 社会参加生きがいづくりの推進 (2) ①高齢者クラブ活動助成 事業の評価と課題に「前期高齢者層の加入が少ない」とあるが、前期高齢者 の中には、活動的であえてこういうクラブに入らないという人も増えている

	<p>ように思う。ニーズがあっても対処できていないのか、ニーズが減っているのか、実際はどうかを調査をする必要があると思う。また、5ページ、3地域包括ケアシステムの深化(3)②行方不明高齢者等SOSネットワーク事業について、自治体によっては見守りタグを採用しているところもあるようだが、笠間市ではやっているのか。事業との兼ね合いがどうなっているのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>県の見守りタグを希望者に配布している。笠間警察署と連携を図って、その番号が誰かを把握できる体制をつくっている。</p>
吉見委員	<p>採用することによって手間をかけずに発見できたということであれば、市民にとって素晴らしいことなので、現状を広報して利用をおすすめしていくという方策もあり得ると思うがいかがか。</p>
事務局	<p>見守りタグは県の事業としては事業が終了している。それに代わるものを検討しており、GPSなどを導入して貸出等もしている。今後認知症高齢者の行方不明者が増えていくことが予想されるので、幅広い支援を検討していきたい。</p>
委員長 石川委員	<p>他はいかがか。</p> <p>どの業界も人材不足が避けられない現状を外国人にお願いすることで解消できるのかどうかはわからないが、会員数が減ったりコミュニティが成り立つのかという課題がある。特に笠間地区は高齢化が進んでいるが、笠間市として、課題を見据えた上で、今までと同じような計画でよいのかと思っている。</p>
事務局	<p>その辺りの考えを聞かせてほしい。</p> <p>介護人材が不足する中で、外国人材受入支援事業補助で対応するのは一つの手法ではあるが、これだけで対応できるものではないと思っている。2023年以降、介護人材自体減っている。需要は増えるが支える人が減っていく中で、重度は専門職、軽度は一般職で支えていかないと、サービスや福祉が成り立たない時代が来るというところで、笠間市でも、事業所や法人のニーズ調査などから、需要のピークがいつなのか、それに対応するためにはどのようなサービスを整備・支援していかなくてはならないのかを見据えながら、計画を策定していきたいと考えている。</p>
中嶋委員	<p>優秀な外国人材に来てもらっている。職員の妊娠や子どもが小学生になる、自身の病気が見つかったなどで退職者が重なった時に、募集をかけてもタイミングが合わなかったりして大変だったこともあり、入管に研修事業所として登録するのに半年ぐらいかかるので早め早めに対応した。大事なのは日本人スタッフが気持ちに余裕を持って業務ができること、利用者に対応できることだと考える。外国人スタッフは日本語が上手で、日本人スタッフのヘルプ、つなぎ役となっている。市がこのような形で助成してくれると励みになると感じている。</p>
副委員長	<p>外国人材が入ってすぐ辞めてしまった、という話も聞くが、教えるスタッフの負担が大きいと思う。市の方で、バックアップ体制や、ICTの補助等はやっていないのか。</p>
事務局	<p>県のICTや介護人材定着支援などで補助はされているが、その他に介護人材への市の補助金という予定は現時点ではない。しかし、介護人材の定着はやはり課題になってくると思うので、質の向上や定着など介護職員の負担の軽減については考えていきたいと思っている。高齢福祉だけではなく、市</p>

委員長 事務局	<p>全体の話にもなってくるが、今年の4月から笠間市外国人材支援センターを立ち上げ、市内で働く外国人の方の総合的なサポートをしていく体制をとっている。</p>
委員長	<p>他になければ、事務局より資料1-①の説明をお願いします。 事務局より「資料1-①サービス見込量の進捗」(8～9ページ)について説明 質問はあるか。(質問なし)</p>
委員長 吉見委員 事務局	<p>(2) 計画の方向性について (3) 計画策定のための諸調査について 事務局より「資料2計画の方向性について」(1～14ページ)、「資料3計画策定のための諸調査について」(15～21ページ)説明 質問等ないか。 17ページも今の説明に含まれていたということによいか。 含まれている。資料の16ページから21ページは各調査設問一覧となっている。</p>
吉見委員	<p>17ページ、②要介護認定者調査《市独自調査》の問3在宅医療・介護について(3)最期を迎えたい場所という項目で、(3)-①が医療機関、介護施設等を希望する理由、(3)-②が自宅を希望する理由となっているが、現実では、医療機関で亡くなる方がかなりの部分を占めている。市民が本当に自宅で亡くなるのを望んでいるかどうかは非常に微妙である。元気な時は自宅を希望するが、がんの末期などは在宅医療を希望しても現実的には難しい。東京都などでは訪問医が多いが、人口過疎地になると医療を提供することが困難になってくる状況もある。また、比較的良い状況での生活や介護・医療が提供されている介護施設にいる人たちが在宅の人と比べて不幸そうには見えない。在宅医療の現実的な対応としては、介護施設等で亡くなるという選択肢もあり得ると思う。そのため、調査の設問は希望する理由を医療機関、介護施設等、自宅の3つに分けてほしい。元気なのか、あるいは大きい疾患があるかなど、その人の状況、変化によって回答が異なってくる。末期の人に聞くのは厳しいと思うが、家族からは聞けるかもしれない。そういうことも想定しながら調査をやっていただけると、現状や市民のニーズが把握できるのではないだろうか。</p>
事務局 川崎委員	<p>検討する。</p>
事務局	<p>6ページ、5在宅における医療と介護の連携と支援の推進(1)③在宅医療・介護連携推進事業の実施内容・令和6年度実施状況にACPの普及啓発とあったが、笠間市では広く普及しつつあるというような傾向があるのか。蓄積している所見があれば聞かせてほしい。</p>
川崎委員 副委員長 事務局	<p>ACPの普及啓発ということで多分野連携(地域包括支援センター、健康医療政策課、市立病院の連携事業)のメディカルカフェをやっている。その中での取組の一つとして、一般市民を対象に年1回の講演会等も開催している。 実際やっているということか。 ACPというのを知って、高齢者や家族はやっているのか。 11月30日が人生会議の日(いいみとり)ということで、年に一度11月に</p>

吉見委員	<p>あわせて広報し、デジタルサイネージなど電子媒体で人生会議というものについて普及啓発をしている。人生会議そのものも大事だが、いきなりやろうと思っても難しいところがあるので、その前段階で人生会議の準備をするツールとして、エンディングノート笠間市版の配布や書き方講座などを実施し普及啓発に努めている。</p> <p>ACP、アドバンス・ケア・プランニングは疾患になった時、人生最期の部分で自分がどのような医療やケアを望むかということをおおきく把握しておこうという計画となる。人の気持ちは変わるので、何度もやる、理解してやってもらうことが大事だと思う。</p>
事務局	<p>(4) 計画策定のスケジュールについて</p> <p>事務局より「資料4第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画・成年後見制度利用促進基本計画・認知症施策推進計画 策定スケジュール」(22～23ページ)について説明</p> <p>各種施策の内容や将来推計の部分については第3回策定委員会(2026年10月)の策定委員会で説明する。</p>
事務局	<p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回策定委員会は2026年8月頃を予定 ・メールアドレスの登録依頼について ・デカゴン体験イベント(11月8日)について <p>6. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>